

令和 7 年度

第 1 回 安平町地域公共交通会議 議案

(兼 安平町地域公共交通協議会)

令和 7 年 6 月 26 日(木) 13:30～
安平町役場総合庁舎 大会議室

～ 会 議 次 第 ～

1 委嘱状交付

[6 月 26 日付け委嘱]	．．．．．	P 2
(変更) 室蘭運輸支局首席運輸企画専門官	佐々木 崇史 様	
あつまバス株式会社営業部 営業課長代理	新 保 智 之 様	
遠浅地区自治連絡協議会会長	小 坂 亮 一 様	
北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部事業室地域調整課長	高 橋 圭 様	

2 議 事

(1) 安平町地域公共交通計画の令和 6 年度評価について	．．．．．	P 3
①施策評価及び計画の進捗状況		
②達成度評価指標と実績値		
(2) 令和 7 年度の地域公共交通対策事業について	．．．．．	P 7
①安平町の地域公共交通対策事業		
②沿線連携による室蘭線利用促進事業		
③国の交付金を活用した事業		
(3) 循環バスに係る地域公共交通確保維持事業計画について	．．．．．	P 17
(4) 安平町地域公共交通協議会の決算及び予算について	．．．．．	P 19
(5) 「安平町地域公共交通協議会事務局規定」の一部改正について	．．．．	P 21

3 そ の 他

安平町地域公共交通会議 安平町地域公共交通協議会 委員名簿

令和7年6月26日現在（委嘱者変更）

任期：[交通会議] 令和6年9月12日～令和8年9月11日

[協議会] 令和6年9月12日～令和8年9月11日

区 分	役 職	所 属 ・ 役 職 名	氏 名
町 長 が 指 名 す る 者	会 長	安平町副町長	田 中 一 省
室蘭運輸支局長が指名する者		室蘭運輸支局首席運輸企画専門官	佐々木 崇史 R7.6.26 変更
北海道胆振総合振興局長が指名する者		北海道胆振総合振興局地域創生部 地域政策課長	西 崎 拓 也
あつまバス株式会社の代表	協議会監事	あつまバス株式会社営業部 営業課長代理	新 保 智 之 R7.6.26 変更
有限会社追分ハイヤーの代表		有限会社追分ハイヤー運行管理者	及 川 峻 介
北海道旅客鉄道株式会社の代表が指名する社員		北海道旅客鉄道株式会社 総合企画本部 地域交通改革部専任部長	海 原 邦 夫
地 域 住 民 の 代 表		安平町追分地区町内会連合会 会長	真 保 立 至
	協議会監事	安平地区連合自治会 会長	佐々木 弘
		早来地区自治会連合会 会長	山 下 美 樹
		遠浅地区自治連絡協議会 会長	小 坂 亮 一 R7.6.26 変更
		安平町老人クラブ連合会 副会長	右 田 時 夫
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会の代表		北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 室蘭地区交通運輸産業労働組合協議会 議長代理	工 藤 幹 彦
道 路 管 理 者 が 指 名 す る 職 員		北海道開発局室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所長	石 塚 達 也
		北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部事業室 地域調整課長	高 橋 圭 R7.6.26 変更
北海道警察札幌方面苫小牧警察署長が指名する職員		札幌方面苫小牧警察署 交通第一課長	宮 崎 翔 太
学識経験者		苫小牧工業高等専門学校 創造工学科(都市・環境系) 教授	下 ^{した} 夕 ^{むら} 村 光 弘
交通会議が必要と認める者		安平町商工会 会長	小 林 正 道

2 議 事

議事（1）

安平町地域公共交通計画の令和6年度評価について

『安平町地域公共交通計画（R4～R8）』では、基本目標を「幹」「枝」「葉」など樹木になぞらえて設定しています。実際には、「幹」は鉄道やあつまバス、「枝」は循環バス、「葉」は自由度の高いデマンドバスやハイヤーと見立て、それぞれが有機的に繋がりあうイメージを目指しています。

基本目標		既存の輸送手段
幹：幹線の利用促進と維持改善		鉄道（室蘭線、石勝線） あつまバス （苫小牧線、千歳線、早来線、沼ノ端線）
枝：きめ細かい支線の機能強化	将来的に	循環バス
葉：自由度の高い町内交通の振興	一体化を検討	デマンドバス、ハイヤー等
共通：横断的な利用促進の強化による公共交通の活性化		

「安平町地域公共交通計画 P65 表 6-1 安平町がめざすべき公共交通像と役割」より抜粋

安平町地域公共交通計画の進行管理については、計画期間（5年）毎の大きな評価等のほかに、小さな評価等を毎年行うこととしています。つきましては、計画の令和6年度評価として、下記のとおりお諮りいたしますので、委員の承認を求めます。

①施策評価及び計画の進捗状況（●実行済み、△未着手）

進捗状況	主な実施状況
基本目標1 幹：幹線の利用促進と維持改善	
施策① シームレスな公共交通体系の維持による公共交通利用者の確保	
着手済み	●R4～追分高校通学費補助を町内生徒全員・全額補助に拡充 →●R5～町外から通う生徒を含む全生徒・JR 通学定期全額補助に拡充 ●R5～JR室蘭線苫小牧 7:31 発-追分 8:09 着を毎日運行に（休日運休とりやめ）

	●R5～JR ダイヤ改正に対応したあつまバス時刻改正・接続確保 ●R5 あつまバスの運賃改定(物価高騰・収支改善等) ●R6～JR ダイヤ改正に対応したあつまバス等の時刻改正・接続確保 ●R6～現況に即したあつまバス停留所名の変更
施策② 関係機関との協議による議論の活発化	
着手済み	●R4～JR 室蘭線協議会及び室蘭線アクションプラン実行委員会事業の実施 ●R5～国・道補助を活用したローカル鉄道再構築の調査実証事業の実施 ●R6～JR北海道に対する国の監督命令に対応した沿線連携の取組み [参考] R7～室蘭線沿線活性化協議会により、「1日乗車モニター実証」や「定期モニター実験」を実施
基本目標2 枝:きめ細かい支線の機能強化	
施策③ 現状のルートや運行時間に配慮した利便性の高い循環バスへの見直し	
着手済み	●R4～自由乗降区間の拡充及び路線見直し協議実施 ●R5～停留所2増1減(経路・時刻見直し)、自由乗降区間の新設1延長1 ●R6～千歳-追分間の普通列車との接続改善 ●R6～自由乗降区間の新設(追分地区)
施策④ 移動ニーズに合わせた選択と集中による強弱のある運行形態への変更	
未着手	△住民と運転手等事業者の両者にメリットのある方式の調査検討 △貨客混載輸送の調査検討
基本目標3 葉:自由度の高い町内交通の振興	
施策⑤ 事前登録、利用予約など乗車前の仕組みの改善	
着手済み	●R4～スマホ教室においてデマンドバスのスマホ予約をPR、予約方法を解説 ●R4～あびらチャンネルでの公共交通CM宣伝(毎年制作・放映増) ●R5～デマンドバス利用者登録をメールや郵送でも対応拡充 [参考]R7～ハイヤー、デマンドバス等の受付一元管理システムの開発
施策⑥ デマンドバスの改善とハイヤーとのすみ分け・補完	
着手済み	●R4～デマンドバス運行協議会(商工会主宰)等での改善協議 ●R5～ハイヤー空白状態に対応したデマンドバス早来・遠浅エリアの「方向制限・始発時刻見直し」「停留所増設」実施 ●R6～スマホアプリMONET予約者無料乗車キャンペーンの実施
施策⑦ 土日を含めた持続可能な輸送手段確保のための継続的な人材確保・資金調達の検討	
着手済み	●R4～運転手確保に向けた事業検討 ●R5～第二種運転免許取得費助成事業の開始(全額～2/3 補助) ●R5～持続可能な人材確保を目的としたライドシェア等の調査検討 ●R5～地域おこし協力隊制度活用によるハイヤー運転手の公募実施(2名枠) ●R6 地域おこし協力隊制度活用によるハイヤー運転手の確保(2名) [参考] R7～協力隊による早来地区ハイヤー土曜運行の再開 [参考] R7～公共ライドシェアの実証実験 △運賃按分相乗りタクシー及びデマンドバス又はタクシーのフィーダー補助適用検討

基本目標4 横断的な利用促進策の強化による公共交通の活性化

施策⑧ ICT 技術を活用した公共交通の利用促進

着手済み	●R4～循環バス GTFS オープンデータ化実施(Google 等で検索可能に) △MaaS 推進、バスロケーションシステムやデジタルサイネージの検討
------	--

施策⑨ 生活交通を中心とする観光二次交通への応用

未着手	△観光応用・外需獲得による生活交通の維持確保策の検討 (例:低速電動車両や馬車、レンタサイクル、観光列車やサイクルトレインなど、乗ること自体も目的になる移動手段)
-----	--

施策⑩ 企画乗車券や割引サービス等の運賃施策の検討・継続

着手済み	●R4～ハイヤー運賃半額助成(コロナ対策・時限)の恒久的事業化協議 →●R5～ハイヤー運賃半額助成(公共交通確保対策)を恒常的事業に転換 ●R4～福祉交通助成及び運転免許自主返納者支援助成の継続 →●R5～福祉交通助成の継続申請免除(自動郵送交付)の実施 ● R6～課題のあった福祉交通助成における有効期限化(1年)の実施 △ふるさと納税やダイレクトメール等を条件とした町外者サービスの検討 (例:観光者や町民親族に対するデマンドバス特認、共通回数乗車券交付)
------	--

施策⑪ 町民自らが考え、協働による意識の醸成

着手済み	●R4～総合時刻表・乗り方ガイドの発行継続等による広報活動(見える化推進)の実施 ●R4～住民対話型の意見交換・利用啓発(各種集会への出張説明等) ●R4～ノーマイカー運動(JR 室蘭線で行こう! うまかまつり、町職員の通勤・出張時の鉄道等利用、鉄道等利用促進活動費助成金の実施及び室蘭線の旅モデルプランの提供) ●R4～駅や停留所の美化活動など町民協働による機運や愛着の醸成 [参考]R7～公共交通利用者の動向データ収集、分析業務の実施
------	---

②達成度評価指標と実績値(「安平町地域公共交通計画」P83～85 より)

安平町内4駅の「JR駅利用者数(人/日)」

策定時現況値		R4	R5	R6	R7	R8
523	目標値	515	507	499	491	483
(R3)	実績値	617	572	604		
実績値 説明等	R6 年度は利用者数が前年より増加。JR 北海道及び沿線市町との連携による取組や当町の利用促進事業の効果が一定程度みられるものと評価。					

「あつまバス利用者数(人/年度)」 (R6=R5.10～R6.9)

策定時現況値		R4	R5	R6	R7	R8
82,068	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
(H30～R2平均)	実績値	79,553	79,554	82,404		

実績値 説明等	R6 年度は目標値を達成。あつまバスの取組や、当町の共通回数乗車券の使用効果も見られているものと推測。					
「循環バス・デマンドバス利用者数(人/年度)」						
策定時現況値		R4	R5	R6	R7	R8
8,283 (R1~R3平均)	目標値	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200
	実績値	9,054	9,576	9,540		
実績値 説明等	合計人数は前年とほぼ同数を維持し、目標値を上回る。循環バスの乗車人数が増加している一方、デマンドバスの利用者は減少している。(循:5,996→6,907 / デ:3,580→2,633)					
「循環バス・デマンドバスの経常収支率」						
策定時現況値		R4	R5	R6	R7	R8
4.8% (R3)	目標値	5.0%	5.0%	6.0%	6.0%	6.0%
	実績値	5.5%	5.7%	5.4%		
実績値 説明等	循環バスの収支率は上昇(循 5.5%→6.3%)したものの、デマンドバスの収支率が下がり(デ 6.1%→4.2%)、前年に対して減少。目標値を下回る結果となった。					
「公共交通に対する町負担割合」						
策定時現況値		R4	R5	R6	R7	R8
80.2% (R1)	目標値	80%	84%	86%	88%	90%
	実績値	82.8%	86.2%	86.9%		
実績値 説明等	循環バスの運賃収入は増加したが、デマンドバスの収入が減少したため合計収入額は微減となり、町負担割合も上昇した。					
「循環バス・デマンドバスの利用者の満足度」						
策定時現況値		R4	R5	R6	R7	R8
30.0% (R3)	目標値	30%	40%	50%	60%	70%
	実績値	調査せず	92.1%	89.2%		
実績値 説明等	R3 年度は、現況値は地域公共交通計画策定時アンケート結果を使用。 R5年度は、乗客満足度アンケート調査で「満足・やや満足」と回答した数値を使用。(164 名中 151 名)。 R6 年度は、乗客満足度アンケート調査(R6.12.2～20)において、循環バスとデマンドバスに対して「満足」「やや満足」と回答した数値を集計。 (循環バス:100 名/111 名 デマンドバス:16 名/19 名 が満足・やや満足と回答)					

議事（２）

令和７年度の地域公共交通対策事業について

①安平町の地域公共交通対策事業

安平町地域公共交通計画に基づく各種施策・事業の推進

※別添「令和７年度 安平町地域公共交通対策関連事業の概要」を参照

【令和７年度の主な内容】

- ◇鉄道）「ＪＲ室蘭線で行こう！うまかまつり」の継続実施（４００人想定）
- ◇循環バス）必要に応じてバス停の見直し検討
- ◇デマンドバス）ハイヤー、デマンドバス等の受付一元管理システムの開発
- ◇ハイヤー）地域おこし協力隊による早来地区ハイヤー土曜運行の再開
- ◇共通）公共交通利用者の動向データ収集、分析業務の実施 など
地域公共交通協議会「ライドシェア運行検討部会」の開設検討
（安平町商工会、運行管理事業者 など）

②沿線連携による室蘭線利用促進事業（室蘭線活性化連絡協議会事業等）

【令和５年度の主な事業】

- ・「鉄道フェスティバル in 北海道」への出展ＰＲ
- ・調査実証事業「室蘭線・日高線ご当地カードラリー」「ＪＲ定期券で路線バスに乗れる実証事業」等の実施
- ・炭鉄港推進協議会「未来へつながる日本遺産炭鉄港魅力発掘事業」への協力
- ・日高線及び室蘭線協議会連携「ラッピング列車プレ運行＆お披露目見学会」開催

【令和６年度の主な新規事業（予定）】

- ・ＪＲ北海道による観光列車「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」への協力

【令和７年度の主な事業】

- 線区の維持・存続に向けた取組
～「沿線住民モニター事業」「通勤定期モニター事業」の実施
- 公共交通への関心を高める取組み
～ 鉄道フェスティバル in 北海道の出展
- 新たな利用者の獲得
～ 室蘭線沿線観光利用促進事業の実施
（オリジナル缶バッジ持参者に対する沿線イベントでの特典付与）
～ オリジナルキャラクター活用事業の実施
（沿線外からの誘客促進に向けたオリジナルキャラクター活用事業）

③国の交付金を活用した事業

◆今年度の取組

安平町地域公共交通協議会では、国の補助金（『「交通空白」解消緊急対策事業』）の交付を受けて『時間帯空白解消に向けたハイヤー・デマンドバス・ライドシェア一元管理化調査実証事業』を実施し、公共交通体制の充実に向けた試験的取組を進めていきます。

◆現状と課題

現在、町内の公共交通においては、循環バスやデマンドバス、ハイヤーが休日に運休していることが多く、曜日や時間帯によって交通機関が稼働していない「交通空白」が生じている状況です。また、ハイヤー車両は早来・追分の両エリアで各1台ずつのため予約が重複しやすく、ひとたび遠方への利用が入ると対応件数が減ってしまう状況にあります。

<R7 年度の取組>

	項 目	内 容
1	利用者や交通事業者へのニーズ調査	令和6年度の実績では、循環バスとハイヤーの利用者は増えているもののデマンドバスの利用者が減少傾向にあるため、直近の利用者動向や要望をヒアリング等の方法で調査し、より求められる交通体制の整備に生かします。
2	ライドシェアの実証実験	現在、循環バス、デマンドバス、ハイヤーは、日祝や夜間に運休しているため、 <u>ライドシェア（※）等にも着目し、導入に向けた実証</u> を行います。 ※ライドシェアとは、2種免許がない一般ドライバーが自家用車等で乗客を目的地まで有償運送すること
3	新たな移動手段の検討	現在、デマンドバスとハイヤーは早来・追分エリアで各1台ずつしか配置されておらず、特にハイヤーは予約が重複すると利用できない状況であるため、需要が車両台数を超えた場合の対応方法を検討します。
4	配車システムの開発	現在、窓口が無人となる休日や夜間等は受付が不可となるため、デマンドバス、ハイヤー等の受付体制を一元化し、有人でも無人でも受付対応が可能な運行管理システムをAIの導入も含めながら安平町の実情に合わせて開発します。
5	車両の確保	ライドシェアの利用を想定した車両の購入。



さまざまなスタイルに合わせた配車システム

MITTの配車システムはAIデマンド配車・タクシー配車を同じシステムで運用できます。
また従来の電話応対はAIに切替可能ですのでより持続可能な配車応対を実現しています。

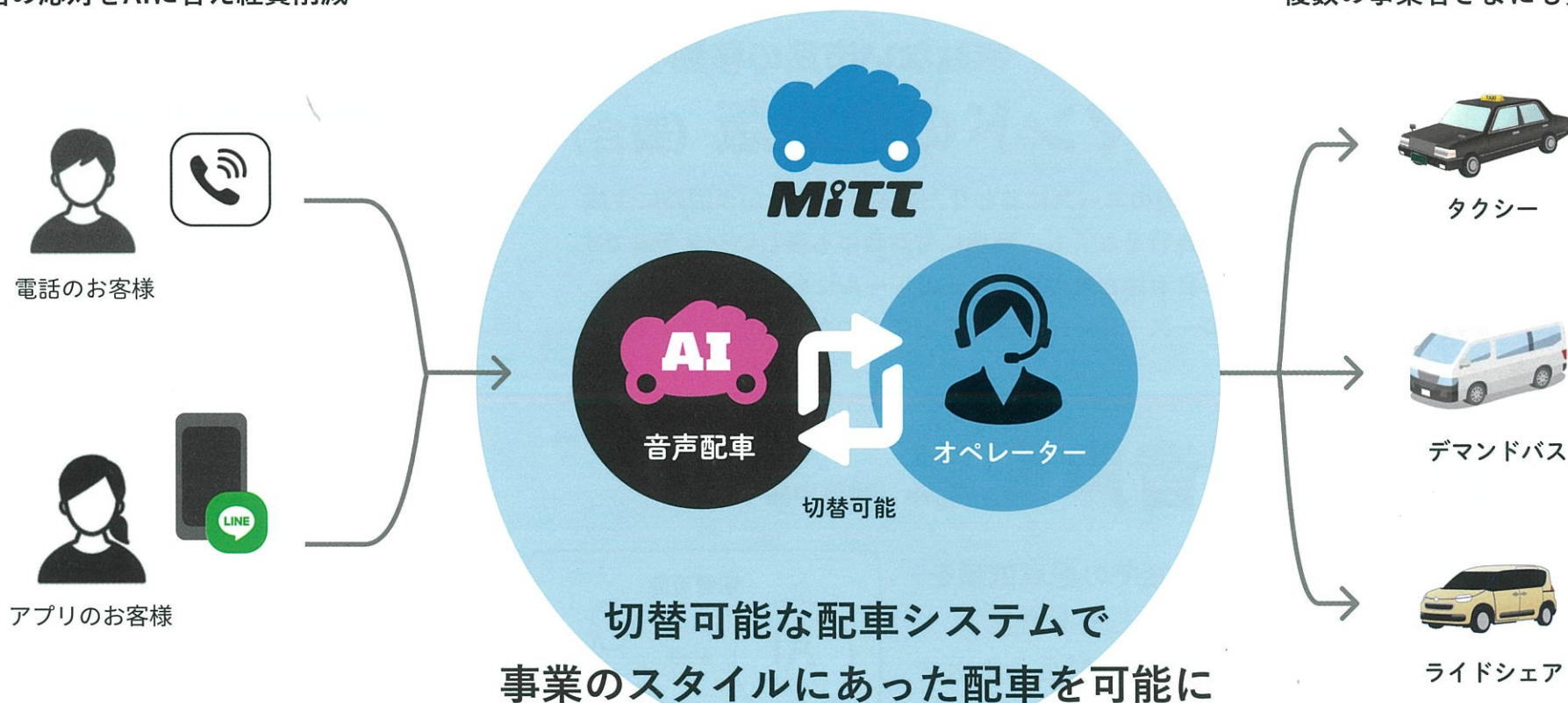
①依頼

- ・アプリと電話の統合が可能
- ・電話の応対をAIに替え経費削減

②配車

③実車

- ・利用する車両も自由に設定可能
- ・複数の事業者さまにも委託可能



事業の基礎情報

事業実施地域	北海道安平町（早来地区、追分地区）
「交通空白」リストに位置づけている地区名等	北海道安平町
事業の主体	安平町地域公共交通協議会
新たに導入する交通サービス	A I デマンド、公共ライドシェア

取組の概要

（事業実施手順・スケジュール）

- 予算措置 ……町は事業費全額を6月議会において補正予算予定。その後協議会へ補助金として拠出。国庫補助金の受領をもって協議会が町へ返戻。
- 車両購入、調査・結果整理 ……7月頃に安平町の契約規則に準じて協議会が委託先等を選定、契約。その後の実証運行や実績報告につなげる。
- システム開発・導入 ……7月頃に安平町の契約規則に準じて協議会が事業者を選定、契約。その後、実証運行を行う。
- 周知・運転者の募集 ……7月以降、システムや車両、調査態勢が整った段階で実施。あびらchやチラシ・ポスター等で実証運行や募集等の周知を図る。
- 協議会の開催 ……年間4回の開催を予定。関係者を絞った打合せは適宜実施。取組内容の協議、合意、進捗管理等を行う。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会 （安平町含む）			協議会開催、交付申請	委託先選定・実証詳細協議					調査・実証振り返り（1～2回）			
調査・実証等				車両購入、調査・周知等着手			調査・実証運行（最長5か月）					
システム開発・導入						開発、導入等（修正・調整含む）						10

バス・ハイヤー



二種免許の取得費を助成します

まちでの生活に必要な公共交通を支える人材の育成確保を図り、もってバス及びハイヤーの維持確保及び持続可能な公共交通を実現するため、第二種運転免許の取得に係る費用に対して、町の予算の範囲内で助成金を交付します。

R5新規事業

助成金の交付対象者 （安平町第二種運転免許取得費助成金）

助成金の交付対象者は、交付申請時において次に掲げる要件を全て満たしている必要があります。

- 1 第二種運転免許の受験資格を有する方（受験資格特例教習を受講又は修了する予定の者を含む）
- 2 65歳以下の方
- 3 市町村税の滞納がない方
- 4 町内を運行するバス及びハイヤー事業者の従業員として内定又は決定し、町長及び事業者との三者協定を締結した個人

助成金の対象となる経費

助成金の交付の対象となる経費及び額は、次表のとおりとなります。

国等から同様の目的による補助金等を受ける場合は、これを対象経費から除くものとします。

助成対象経費	交付額
(1) 第二種運転免許の取得までに必要な教習所料金及び運転免許試験場に係る費用（検定等不合格による補習料金及び再検定費用、資格取得に係る旅費は除く）	町民 10分の10以内 町民以外 3分の2以内
(2) 第二種運転免許の取得に係る諸費用（(1)の交付の対象となる場合に限る） 詳しくはこちらから 「安平町第二種運転免許取得費助成金実施要綱」 → 	通学形式の場合 1日当たり1,000円、 通算20,000円を限度 合宿形式の場合 1日当たり2,000円、 通算20,000円を限度
(3) その他町長が特に必要と認めた費用	実費額を限度

助成金手続きの流れ

申請期限：第二種運転免許の取得予定日の属する年度の2月15日まで

- 1 町又は事業者へ相談
- 2 事業者との面接
- 3 採用内定、三者協定締結
- 4 助成金申請・第二種運転免許取得通学
- 5 就業・運転業務開始、助成金実績報告

12か月以内に離職等があった場合には助成金の返還規定がありますので、詳しくは実施要綱をご覧ください。

町が助成

～地域公共交通の維持確保のために～

半額でハイヤーに 乗車できます



町民に対するハイヤー運賃半額助成の事業を令和7年4月以降も実施します

補助の対象

(安平町地域公共交通維持確保ハイヤー運賃等助成金)

町民に対して、ハイヤー運賃の2分の1を助成します。

有限会社追分ハイヤーが運行*する「追分エリア」「早来エリア」のどちらのハイヤーに乗車しても助成の対象です。

*限られた体制により営業しており、やむを得ず臨時休業が生じる場合があります。

1 町内移動のハイヤー運賃

追分ハイヤー

早来エリア 追分エリア



どちらも補助対象

助成回数に制限はありません

2 対象地域に所在する 医療機関までのハイヤー運賃

追分ハイヤー

他社ハイヤー

早来エリア 追分エリア

町外



どちらも補助対象

補助対象外

町民1名につき、月1回(片道)限り
帰りの町外ハイヤーは対象外

対象地域

苫小牧市/千歳市/恵庭市/厚真町/むかわ町/由仁町/栗山町

ご利用方法

1

運転手に
助成利用希望を
お伝えください



運賃の半額助成を
利用します!

2

住所や氏名が
確認できる
証明書を提示



3

運賃伝票に
氏名を自署



4

運賃の半額を
お支払い



※ハイヤーの台数が限られているため、混み合うときは乗車までお待ちいただく場合があります。
※町外へのご利用は、前日までに電話予約をお願いします。

町の「共通回数乗車券」
でのお支払いもOK!

【ハイヤーの乗車予約】 有限会社追分ハイヤー (日曜休業)

追分エリア ☎ 25-2150 (営業時間 月～木曜 7時30分～21時、金・土曜 7時30分～23時)

早来エリア ☎ 29-7045 (営業時間 月～土曜 8時30分～18時30分)

↳ 地域おこし協力隊員が2名体制となり、令和7年6月から土曜日の営業を再開します。

【制度に関する問合せ】 政策推進課 政策推進グループ ☎22-2751



みんなで乗れば、
未来が変わる。
考えよう。行動しよう。公共交通の未来。

JR室蘭線で行こう！

なびなび うまかまつり

ビールがうまか時季ですね！今年もやります！

指定するJR室蘭線に乗って来場する方に早来駅で
「**出店商品券 1,000 円分**」を進呈！

指定便はこの9便！

7月5日(土)

苫小牧駅	遠浅駅	早来駅	安平駅	追分駅	岩見沢駅
13:22 →	13:39 →	13:45			
		14:21 ←	14:16 ←	14:09 ←	13:03 ←
		16:19 ←	16:13 ←	16:06 ←	15:05 ←
15:58 →	16:15 →	16:21			
17:16 →	17:33 →	17:39			
		17:40 ←	17:34 ←	17:28 ←	16:35 ←

7月6日(日)

苫小牧駅	遠浅駅	早来駅	安平駅	追分駅	岩見沢駅
		8:35 ←	8:29 ←	8:23 ←	
8:37 →	8:54 →	9:00			
		10:06 ←	10:00 ←	9:53 ←	9:03 ←

早来駅までの運賃 苫小牧駅:580円 遠浅駅:270円
安平駅:270円 追分駅:360円 岩見沢駅:1,380円
※交通系ICカードはご利用になれません。現金でのご準備をお願いいたします。



6日⑩のタレントショーは
●お笑いコンビ 響 漫才
●アイデンティティお笑いショー

＜事業詳細＞

目的/ 沿線住民の室蘭線利用促進・機運醸成、
まつり増客による地域活性化
～乗って まちづくりに活かそう 公共交通！～

対象/ 令和7年7月5日(土)及び7月6日(日)の
室蘭線指定便(上表)のいずれかに乗って
早来駅で降車し、うまかまつりへ向かう方
(幼児も可。乳児は除きます)

※先着400名(町内・町外の方問わず)

進呈/ まつり出店商品券(千円分)

商品券使用場所/ まつり会場の出店各店に限る

その他/ 出店商品券はお釣りができません。一部出店
で商品券が使用できない場合があります。

券の進呈場所
早来駅
から会場までは
徒歩で約1km



アサヒメロン
早食い競争
(5日⑤)
うまか杯ポニー
サイクルGP
(6日⑥)

まつり
会場

＜会場までのルート＞

助成金でおトクに グループ旅行ができる!



地域の大切な公共交通である鉄道等の公共交通利用を促進するとともに、地域の経済や文化活動の活性化を図るため、町民の自主企画による鉄道等利用促進活動に要する費用に対して、町の予算の範囲内で助成金を交付します。

R7実施継続!

助成金の交付対象者

(安平町鉄道等利用促進活動費助成金)

助成金の交付対象者は、安平町内に所在する次の団体です。

- 1 地域コミュニティ団体**
(自治会・町内会、社会教育団体、福祉団体など)
- 2 教育機関及び関連団体**
(子ども園、児童センター、小中高等学校及び部活動など)
- 3 産業関連団体**
(農協青年部、商工会女性部、事業所等の親睦会など)
- 4 公益性を有する非営利法人**
(ただし、収益を目的とした事業を除く。)
- 5 その他町長が特に認める団体**

助成金の対象となる事業

助成金の交付の対象となる事業は、交付対象者が実施する室蘭線沼ノ端～岩見沢間の一部又は全部の利用を含む行事で4名以上の室蘭線片道以上の利用がある事業です。 ※以下「室蘭線」といいます。

※



助成対象事業	助成対象経費及び交付額	交付上限
(1) D51 320号機 (道の駅あびら D51ステーション併設鉄道資料館) をはじめとした炭鉄港関連施設又は民族共生象徴空間ウポポイへの旅行を含む室蘭線活用行事 自治会や親子等の親睦行事に!	①北海道旅客鉄道株式会社管内の鉄道運賃及び料金 10/10以内 ②あつまバス株式会社、有限会社追分ハイヤー、安平町循環バス、安平町デマンドバスの運賃及び料金 10/10以内 ③上記①②を除くバスやタクシー等の公共交通運賃及び料金 ①の助成額を上回らない額 ④炭鉄港関連施設、民族共生象徴空間ウポポイの入場料及び体験等料金 10/10以内 ⑤安平町内における公共施設及び温浴施設等の料金 10/10以内 ⑥飲食に係る経費(安平町内での販売商品に限る。) ①の助成額を上回らない額 祝 日本遺産認定! 「炭鉄港」 	左記①～⑥の助成額合計が1名につき1万円かつ1団体20万円
(2) 上記(1)を除く室蘭線活用行事	本表(1)の①～⑥に同じ 「室蘭線の旅モデルプラン」は、 こちらのQRコードから!  	左記①～⑥の助成額合計が1名につき5千円かつ1団体10万円

助成金手続きの流れ

申請受付期限: 令和8年3月13日(金)まで

- まずは担当課へ相談
- 申請
- 交付決定
- 実績報告

お問合せ先 (担当課)

安平町役場 政策推進課 政策推進グループ ☎ 0145-22-2751

J R 室蘭線 通勤定期モニター募集

対象区間

(発着駅が岩見沢－沼ノ端間)



先着30名様限定

通勤を
もっと楽に！

マイカー通勤を列車通勤に
変えてみませんか？

対象エリアにお住まいの方に、今だけ

『J R通勤定期券を無料提供』します！



JR時刻表

■対象者

- ・岩見沢市、栗山町、由仁町、安平町、苫小牧市のいずれかに在住し、現在マイカー通勤をしている方

■モニター概要

- ・1ヶ月または3ヶ月のJ R通勤定期券（岩見沢－沼ノ端）を無料提供。ご利用後アンケートにお答えいただきます。

※通勤定期券は、ご自宅の最寄り駅～職場の最寄り駅（室蘭線：岩見沢－沼ノ端間）となります。

※本モニター事業は、室蘭線（岩見沢－沼ノ端間）を対象区間としているため、他のJR線の乗り継ぎ等が必要な場合（岩見沢市内各駅、安平町内各駅、苫小牧市内各駅を利用する場合）は、右記問合先へご相談ください。

※ご利用期間は、お申込み時にお選びいただけます。

■実施期間

- ・モニター募集期間：令和7年6月1日～11月18日
- ・定期券利用可能期間：令和7年7月1日～12月31日

■申込方法

- ・申込方法は裏面をご確認ください。

■各市町問合先

◎岩見沢市
企画財政部企画室
☎0126-35-4834（直通）

◎安平町
政策推進課
☎0145-22-2751（直通）

◎栗山町
企画財政課
☎0123-73-7502（直通）

◎苫小牧市
まちづくり推進課
☎0144-84-4071（直通）

◎由仁町
地域活性課
☎0123-83-2112（直通）



J R 室蘭線活性化連絡協議会

構成団体：岩見沢市・栗山町・由仁町・安平町・苫小牧市

議事（３）

循環バスに係る地域公共交通確保維持事業計画について

循環バスにおける地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助・国庫補助）の活用に係る事業計画の策定について、委員の承認を求めます。

記

（１）前 提

現在、循環バスは、１日のべ１０便が「早来源武～追分」間を運行していますが、このバスは運行経費の一部について国土交通省から補助金を受けながら運行しています。この補助金は、国への申請時期が毎年６月末であり、補助申請にあたっては事業計画を策定して委員の皆さんに承認をいただく流れになっています。

（２）策定目的

地域公共交通の持続可能なサービス提供に向けた取組を支援する国の「地域公共交通確保維持改善事業」を活用し、循環バスの維持確保を図るために必要な事項等を計画として定めるものです。策定済みの『安平町地域公共交通計画（R4～R8年度）』に加え、その別紙として年度ごとの事業計画を策定します。なお今回は、令和８補助年度（令和７年１０月１日～令和８年９月３０日）を含む向こう３か年にわたる計画となります。

（３）計画の対象である「循環バス」の概要

- ・ 運送種別 自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）
- ・ 運送主体 安平町
- ・ 運送区域 道の駅～早来駅前～早来源武 38.8km
- ・ 運行数量 計画運行日数：243日 計画運行回数：のべ2,430回（片道で1回）
- ・ 使用車両 3台（ハイエースコミューター、キャラバン、リエッセⅡ）
- ・ 運行委託 あつまバス株式会社に運行業務を委託（事業者協力型自家用運送）
- ・ 登録期間 令和３年２月２６日～令和８年３月３１日（５年間）
- ・ 担当部署 安平町役場 政策推進課政策推進グループ 担当：畑田

（４）計画内容（別紙）

- ①目標値については、地域公共交通計画に掲載している数値目標（同計画 P84）及び目標達成に必要な施策・事業（同計画 P68～P82）と整合性をとって作成しています。
- ②「19.利用者等の意見反映状況」の部分では、利用者の意見を聞き取り、その意見を反映していることが改善につながっている点を記載しています。

(5) その他

この計画書は、毎年6月末までに当会議の承認を受けたうえで北海道運輸局に提出し認定を受ける必要があります。本日同意いただいた後、北海道運輸局の点検を受ける中での軽微な修正・変更については事務局に一任いただきたくご了承くださいますようお願いいたします。

なお、補助対象期間終了後は、1月末までに当会議による事業評価を行い、次期（毎年6月）の計画策定に生かすサイクルとなっています。

議事（４）

安平町地域公共交通協議会の決算及び予算について

当協議会の令和６年度決算及び令和７年度予算について、下記のとおりお諮りいたしますので、委員の承認を求めます。

記

安平町地域公共交通協議会の会計につきましては、令和３年度に国庫補助金を受けて「地域公共交通計画」を策定したことに伴い、令和４年８月に「預金利子６円」が発生しておりました。この利子分については、令和６年６月２８日付で町へ支出し、町会計へ収納いたしました。

また、令和７年４月１１日付で、国土交通省より地域内の循環交通の支援を目途とした「地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助・国庫補助）」の補助金３,３８３,０００円が当協議会の会計に入金されました。この補助金は、循環バスの運行補助として町に支出する経費であるため、令和７年５月１日付で町会計へ収納いたしました。

① 安平町地域公共交通協議会 令和６年度決算

【令和６年度決算書】

（１）収入

款	項	目	R6 予算額	R6 決算額	説明
１ 補助金	１ 補助金	１ 補助金	3,083,000	3,383,000	循環バス運行補助 3,180,000 円 車両補助 203,000 円
２ 繰越金	１ 繰越金	１ 繰越金	6	6	R4.8.13 預金利子
３ 諸収入	１ 諸収入	１ 諸収入	0	0	
歳入合計			0	3,383,006	

（２）支出

款	項	目	R6 予算額	R6 決算額	説明
１ 運営費	１ 会議費	１ 会議費	0	0	
	２ 事務費	２ 事務費	0	0	
２ 事業費	１ 事業費	１ 事業費	3,083,006	3,383,006	町へ納入
３ 予備費	１ 予備費	１ 予備費	0	0	
歳出合計			0	0	

歳入合計 3,383,006 円 － 歳出合計 3,383,006 円 ＝ 翌年度繰越額 0 円

出納帳及び収支証拠書類等を監査し、予め説明を受けた事項を除き、適切に処理されていたことを確認しました。

令和６年６月２０日

監事 あつまバス株式会社 新保 智之

安平地区連合自治会 佐々木 弘

② 安平町地域公共交通協議会 令和7年度予算（案）

【令和7年度予算書】

（1）歳入

款	項	目	R6 予算額	R7 予算額	説明
1 補助金	1 補助金	1 補助金	3,083,000	9,811,669	循環バス運行補助 2,880,000 円 車両補助 82,000 円 交通空白解消対策事業補助 6,849,669 円
2 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	6	0	
3 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	0	0	
歳入合計			3,083,006	9,811,669	

（2）歳出

款	項	目	R6 予算額	R7 予算額	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	0	0	
	2 事務費	2 事務費	0	0	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	3,083,006	9,811,669	循環バス財源として 町に支出 2,962,000 交通空白解消事業経費 6,849,669 円
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	
歳出合計			3,083,006	9,811,669	

歳入予算については、1年前の当会議において承認を受けた地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助・国庫補助）の計画に基づく補助見込み額を計上しております。令和8年3月頃に補助額が確定し入金される予定です。

また、歳出予算については、地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助・国庫補助）の補助対象事業である循環バス運行費用の財源として町に支出する予定です。

なお、この歳入・歳出の取扱いは、法及び補助要綱の改正に伴い、交付対象者が法定協議会（当協議会）に限定されたことによるものです。

議事（５）

「安平町地域公共交通協議会事務局規定」の一部改正等について

当協議会の規定の一部改正について、下記のとおりお諮りいたしますので、委員の承認を求めます。

記

① 規定の一部改正

安平町役場の機構改革を踏まえ、以下のとおり改正する。

新	旧
(職員等) 第３条 規約第１１条第２項に規定する事務局には、事務局長、その他必要な職員を置く。 ２ 事務局長には、安平町政策推進課課長_____を、事務局員には、安平町政策推進課職員をもって充てる。	(職員等) 第３条 規約第１１条第２項に規定する事務局には、事務局長、その他必要な職員を置く。 ２ 事務局長には、安平町政策推進課課長 <u>又は参事</u> を、事務局員には、安平町政策推進課職員をもって充てる。

3. その他

◇ライドシェア運行検討部会について

【目 的】ライドシェアの運行方法等について検討を行い、現状で抱える交通空白の解消に向けて取り組むことを目的とし、検討部会を立ち上げる。

【内 容】部会での検討事項

～ 運賃、運転手の募集に関する事項、事業の告知方法等

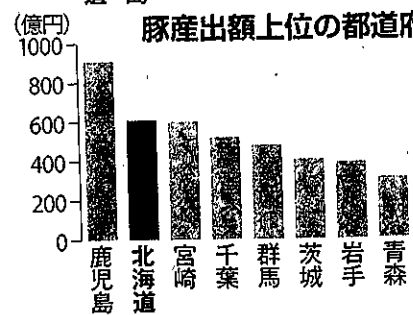
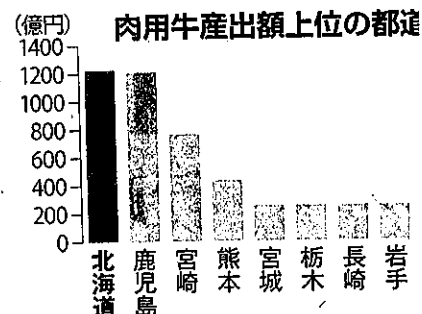
【参加（想定）】安平町商工会、運行管理事業者、システム開発事業者 など

家庭向

单身世帯



ホクレンが販売している冷凍商品「ス」3種(右)と「北海道焼肉」



500円増えた。全国平均の増加額に比べ、牛肉は1784円、豚肉は2396円上回っている。外食需要からの移行に加え、同センターは羊肉からのシフトが進んでいる可能性があるとみている。

(望月悠希)

タクシー不足 洞爺湖町が対策

【洞爺湖】胆振管内洞爺湖町は今年12月～来年2月、町内のタクシー不足を緩和するため、自治体が運営主体となる「公共ライドシェア」の社会実験を行う。この期間は中華圏の旧正月「春節」などで洞爺湖温泉を訪れる外国人も増える。後志管内のニセコ地域のように営業区域外のタクシーの応援を受ける手法も組

洞爺湖温泉街にある道南ハイヤーのタクシー乗り場。訪日客の増加などで、夜間や繁忙期のタクシー不足の緩和が急務になっている。

公共ライドシェア 12月から社会実験

み合わせ、観光客の移動を支える方針だ。

町によると、町内でタクシー5～7台を運行する明星自動車(札幌)の営業時間は午後7時まで。ホテルが集まる洞爺湖温泉街では道南ハイヤー(胆振管内壮瞥町)の1台が深夜まで対応しているものの、予約で埋まっていることが多い。

夜間に車両用意 運転手は住民

社会実験では、町が夜間向けに5人乗りの車両2台を用意。住民から公

募した20人ほどに運転手を任せ、タクシーとして走らせることにした。タクシー配車アプリから予約し、事前に乗降車場所と運賃を決める仕組みを想定。今後、町や町商工会、洞爺湖温泉観光協会などが協議体をつくり、運賃や運転手への報酬などの詳細を詰める。

(高須賀渉)

行う方向で検討中だ。

洞爺湖温泉は昨冬、中国人観光客が急増。JR洞爺駅とを結ぶバスが満員になるなどオーバーブッキング状態となった。町は社会実験で需要を見極め、公共ライドシェアの本格導入を目指す。

国土交通省がまとめた公共交通機関が利用しにくい「交通空白」の全国集計によると、北海道内は洞爺湖町など72市町村に195の空白地区がある。国の支援を受けて、対策を急ぐ自治体が増えている。

道内26年ア

2026年名古屋市長がアジア・アジア大会の組織委員の選手らが泊拠点の整備、家具・イン

経済産業省は2日時点のガソリン1リットル1円40銭、道内平均小売2円だった。2月以降、全国格も3円30銭円30銭だった6週連続の値

は、新商

道や関東

コレート
い洗み抹
=写真=を
こ。洗みを
製厚なチョコ
こわせたコ
ハツツェル
うらかなロ
ムースチョコ
ふ、味に深
した。1箱2
で想定価格
1前後。問
主は通話無
客様センタ

イス
ラル塩パニ
発売した。

った「矢堅
ほんのりと
ミネラル分
。8月末ご
173円前後。
相談センタ

通じ、入浴
うぎ浴養生
=を発売し
から抽出し
配合。冷え
りを和らせ
を回復させ
狙う。保溫
て2種の植
と14種の植
を含む。500

安平町地域公共交通計画(計画期間:R4～R8)に基づき施策・事業を推進

基本理念◇歴史ある鉄路の維持を基本として、既存輸送資源を存分に活用して、将来の魅力ある地域社会を見据えた便利で利用される公共交通を目指す
基本方針◇移動目的に合わせたICT技術等の多様な連携による利便性が高く、持続可能な公共交通の実現
基本目標◇1 幹線の利用促進と維持改善 2 きめ細かい支線の機能強化 3 自由度の高い町内交通の振興 4 横断的な利用促進策の強化による活性化

最大の課題は「鉄道」と「ハイヤー」 輸送資源を総動員して解決を目指す

▶早来地区ハイヤー空白等対策 継続

[第二種運転免許取得費助成]
バス・ハイヤー運転手育成(町民全額・町外者2/3) R6/2名
[地域おこし協力隊制度の活用]
早来地区ハイヤー空白解消2名着任→R6.11、R7.4
循環バスとデマンドバスでハイヤー空白の緩和策終了
ニーズに応じたデマンドバスの運行体制の検討

▶「循環バス」の運行 (H31.4～) 継続



[循環バス導入の再編効果等]
・重複2路線を廃止し、4地区を跨ぎ移動ニーズに対応
・週4日→平日週5日運行に。1日4便→10便に。
・ただ1時間毎に走らせるのではなく、どんな人がどんな
 目的のために乗るかを具体的に想定した時刻・経路
・JR追分駅と早来駅で、鉄道や幹線バスとの接続改善
・自由乗降区間の設定による利便性向上
・右記ソフト事業と連携した総合力・相乗効果を期待

▶定住自立圏事業:苫市内バス通学定期代補助 最終年

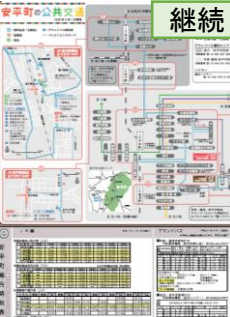
▶JR石勝線減便代替輸送 終期協議(現計画R7まで)

▶デマンドバスのスマホ予約アプリ「MONET」

▶ハイヤー運賃半額補助 継続

R5～コロナ対策から公共交通確保等に目的変更し継続

▶公共交通全体の利用促進策の展開
(総合時刻表の配布、共通回数乗車券の発行等)

継続 [時刻表・路線図・利用ガイド]
・賢く上手な交通の組合せを啓発
 (組合せのモデルケースも掲載)
・町内公共交通を全て網羅
・公共施設や食・宿・生鮮店舗の
 マップも掲載
・各交通モードの車両や乗り方・運
 賃等を写真や図を用いて案内
・乗り継ぎメモとして使える「私の時
 刻表(名刺サイズ)」も掲載

時刻表掲載ページ→ 

[共通回数乗車券の発行] 継続

・10枚価格で11枚購入でき、町内の全ての
 公共交通で使用可能(JRは切符代)
 50円券は、子ども運賃の支払いに便利！
 200円券は、循環バスの運賃の支払いに便利！
 300円券は、デマンドバスの運賃の支払いに便利！
 3種類を組み合わせ使用すれば、ハイヤー初乗り
 運賃600円にもなるので便利！

⇒他交通機関にも利用流動化させ、
 奪い合いではない全体の活性化を

⇒共通回数乗車券購入額の10%を
 ポイントあびら付与(地域通貨連携)



[利用促進に繋がる二次交通の研究] 継続

グリーンスローモビリティ、自転車、馬車、ライドシェア等

▶ノーマイカー運動
(町全体の取組み・町役場での取組み)

①JR室蘭線で行こう！うまかまつり 継続

・R6は364名乗車！「うまかまつり」に、鉄道に乗って
 参加する方に対してまつり出店商品券を配布
 ⇒沿線住民挙げて鉄道利用促進、まつり増客に期待

②免許返納者への公共交通の利用支援 継続

(運転免許自主返納者支援事業R1～)
・年間33,000円の共通回数乗車券を交付
 ⇒「免許返納×公共交通利用促進」の取組み
 H28/4人⇒R1/37人、R4/29人、R5/31人

③ノーマイカーデーの実施(町役場での取組み) 継続

・月1回以上、通勤に公共交通を利用する運動
・札幌や苫小牧、岩見沢への公務出張時は、積極的に
 鉄道を利用
⇒町職員が率先して鉄道を利用し、町民等にも利用
 を促す呼び水になることを期待

④鉄道等利用促進活動費助成金 予算拡充

・「鉄道のあるまち・暮らし」や「都市機能の享受」を
・炭鉄港施設等への4人以上のグループ旅行に助成
 文化・交流活動の回復を目指す

その他、町民団体による駅美化や花植活動などの協働事業、
あびらチャンネル等での利用啓発CM、室蘭線沿線市町等による
事業実施(情報発信等)、JRヘルシーウォーキングや道の駅等との
イベント連携など、多様な連携により利用促進策を展開中。
福祉交通助成の共通券交付「有効期限有り」に 継続

令和 7 年 6 月 26 日

(名称) 安平町地域公共交通協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

安平町は、北海道の南西部、胆振管内の東部に位置し、面積は237.1km²、人口約7,200人の軽種馬や酪農などの農業を基幹産業とした過疎地域であり、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震で大きな被害を受けたことにより人口減少幅が大きくなった地域である。その地震の被害はハイヤー事業者や医院、商店の廃業という形でも表れ、新型コロナウイルス感染症の流行がこれに追い打ちをかけるように地域に重い影響を与えた。こうした背景を直視し、地域住民にとってより使いやすく持続可能な公共交通を目指して令和4年6月に安平町地域公共交通計画を策定した。この計画を指針に、鉄道、バス、ハイヤー等の移動手段の更なる有効機能、まちづくり計画との連携等による継続的で発展的な地域住民の足を確保し、住みよい環境づくりに取り組んでいるところである。

そのような中、当該地域公共交通確保維持事業により確保を図る「循環バス」は、ニーズとの乖離等の問題点を改善した抜本的な取組として令和元年度から運行を開始し、幹線交通と接続する支線の役割を担っている。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて一時低迷した利用者は、令和4年度に入り回復。その後も利用が伸びており、住民生活を支え、地域内を回遊交流するための重要な路線として存在感が増している。

以上により、自家用有償旅客運送による「循環バス」を確保維持することが地域にとって必要であることから当該事業計画を策定するものである。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果**(1) 事業の目標**

■「循環バスの利用者数」を「5,200人/会計年度」以上とする。

⇒ 令和8補助年度期間（R7.10～R8.9）においても同数を目指とする。

（参考：地域公共交通計画の目標値：循環バス＋デマンドバス＝8,200人）

人口減少及び運転手不足のため現状の改善となっていない目標となっているが、自由乗降区間の拡充等の施策により利用者を確保し、現状維持以上を目指とする。

■「循環バスの経常収支率」を「4.8%/会計年度」以上とする。

⇒ 令和8補助年度期間（R7.10～R8.9）においても同数を目指とする。

（参考：経常費用21,791千円/大人5,200人×200円÷4.8%

地域公共交通計画の目標値：循環バスとデマンドバス合計で6.0%

人口減少及び物価高騰のため現状の改善となっていない目標となっているが、自由乗降区間の拡充等の施策により利用者を確保し、現状維持以上を目指とする。

■「循環バスに対する町負担割合」を「82.0%/会計年度」以下とする。

⇒ 令和8補助年度期間（R7.10～R8.9）においても同数を目指とする。

（参考：国調人口7,340人×単価120円＋加算200万円＝フィーダー補助2,880千円を想定。

地域公共交通計画の目標値：循環バスとデマンドバス合計で86%

人口減少及び物価高騰のため現状の改善となっていない目標となっているが、公共交通をインフラと捉え必要な環境整備のための費用増を想定しているなかで、自由乗降区間の拡充等の施策により利用者を確保し、緩やかな町負担増にとどめる目標とする。

（以上は、安平町地域公共交通計画の数値目標P84と整合している目標値である。）

(2) 事業の効果

循環バスを維持確保することにより、高齢者等の交通弱者の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、地域間幹線系統の苫小牧・沼ノ端線やＪＲ室蘭線・石勝線との連携により効率的な運行体系が実現し、町内外者の利用増及び幹線・支線間の相乗効果が期待される。さらには、地域間連携が促され、外出促進・地域活性化にもつながる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・循環バスの停留所見直し、町道部分の自由乗降区間の拡充（安平町、交通事業者等）
 - ・店舗やコミュニティスペース等と連携した待合環境の向上（安平町、商店街等）
 - ・運行ダイヤの見直しなど移動ニーズに合わせた選択と集中による強弱のある運行形態への変更検討（安平町、交通事業者等）
 - ・循環バスのオープンデータ化を実施し、民間のシステムによる情報発信の促進（安平町、交通事業者等）
 - ・生活交通に主軸を置きつつも観光等における二次交通利用の促進（安平町、交通事業者等）
 - ・あびらチャンネルの活用による情報発信や啓発活動の強化（安平町）
 - ・町内の公共交通で共通して使用でき交通間の利用流動化・活性化を促す乗車券の発行継続（安平町、交通事業者等）
 - ・高齢者や障がい者等に対する福祉交通助成事業、運転免許証自主返納者支援事業継続（安平町）
 - ・住民意見交換会など対話による利用促進活動の実施（安平町、交通事業者、地域住民）
 - ・賢く上手な公共交通の組合せ利用を促す総合時刻表や乗り方ガイド等の提供継続（安平町、交通事業者等）
 - ・行動変容の促進を目指してノーカー運動の実施（安平町、地域住民等）
 - ・駅・停留所の美化活動など町民協働による「私たちの公共交通」意識の醸成（安平町、地域住民、商店街等）
- （以上、安平町地域公共交通計画 P68～P82 参照）
- ・運転手不足にある中でインフルエンザ等の感染症からエッセンシャルワーカーを守る対策として、マスクの着用、消毒液の設置、車内換気の励行（安平町、交通事業者）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

表 1 を添付

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図る循環バスについて、その運行に係る費用総額 21,791 千円のうち、安平町から運行事業者へ委託する委託料については、運行経費から国庫補助金額を差し引いた差額分を負担することとしている。

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

毎年、交通事業者等による実績データを把握し、協議会で審議する。

7. 別表 1 の補助対象事業の基準木ただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

8. 別表 1 の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村

に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

【地域内フィーダー系統のみ】

表 5 を添付

11. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

運行一回当たりの最大乗車想定人数のほか、運行経路の一部が狭いことや車両維持費等を総合的に勘案し、14 人乗り小型車両（ワゴン車）を平成 30 年度に取得し運行している。

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

（１）事業の目標

- 「循環バスの利用者数」を「5,200 人/会計年度」以上とする。
⇒ 令和 8 補助年度期間（R7.10～R8.9）においても同数を目標とする。
（参考：地域公共交通計画の目標値：循環バス＋デマンドバス＝8,200 人）

（２）事業の効果

専用ラッピングが施された新車を導入することによって町民に対する視認性の高さが利用促進に繋がるほか、快適な乗車空間を確保することができる。高齢者や子ども等の生活に必要な移動手段が確保され、幹線・支線のネットワークがこれまで以上に連携することで町民等の交通利便性が高まり、利用者の増加が期待できる。ひいては、外出促進や地域間交流、健康増進が図られ地域の活性化につながるとともに、地域の実情に合った持続可能な公共交通サービスが実現する。

13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 **【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

表 6 を添付

なお、車両購入経費から国庫補助金を差し引いた差額分を安平町が負担する。

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）

【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

（１）事業の目標

該当なし

（２）事業の効果

該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 **【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

- ・ 令和6年6月27日（令和6年度第1回安平町地域公共交通会議兼協議会）
循環バス実績を含む地域公共交通計画の令和5年度評価、地域公共交通計画別紙事業計画承認 ほか
- ・ 令和7年1月15日（令和6年度第2回安平町地域公共交通会議兼協議会）
地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価、自由乗降区間改正 ほか
- ・ 令和7年3月27日（令和6年度第3回安平町地域公共交通会議兼協議会）
循環バスの自由乗降区間の追加、デマンドバスの停留所追加 ほか
- ・ 令和7年6月26日（令和7年度第1回安平町地域公共交通会議兼協議会）
循環バス実績を含む地域公共交通計画の令和6年度評価、地域公共交通計画別紙事業計画承認 ほか

19. 利用者等の意見の反映状況

町内会連合会からの要望、及びこれを基にした実証実験の結果を踏まえ、循環バスの自由乗降区間を2カ所新設し、拡充した。

- ・ 青葉豊栄幹線の一部（青葉会館付近～灯葉舎付近の直線区間）
- ・ 追分安平線の一部（花若入口バス停～追分南公営住宅付近の直線区間）

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）安平町早来大町 95 番地

（所 属）安平町政策推進課政策推進グループ

（氏 名）畑田 正宏

（電 話）0145-22-2751

（e-mail）kikaku@town.abira.lg.jp

「ライドシェア」について

(令和7年度 第1回安平町地域公共交通会議資料)

◆ライドシェアとは

個人が自家用車を利用して他人を運ぶサービス。バスやタクシー・ハイヤーなどの運行に要する「2種免許」を持たない一般ドライバーが、乗客を目的地まで有償で運送すること。

◆背 景

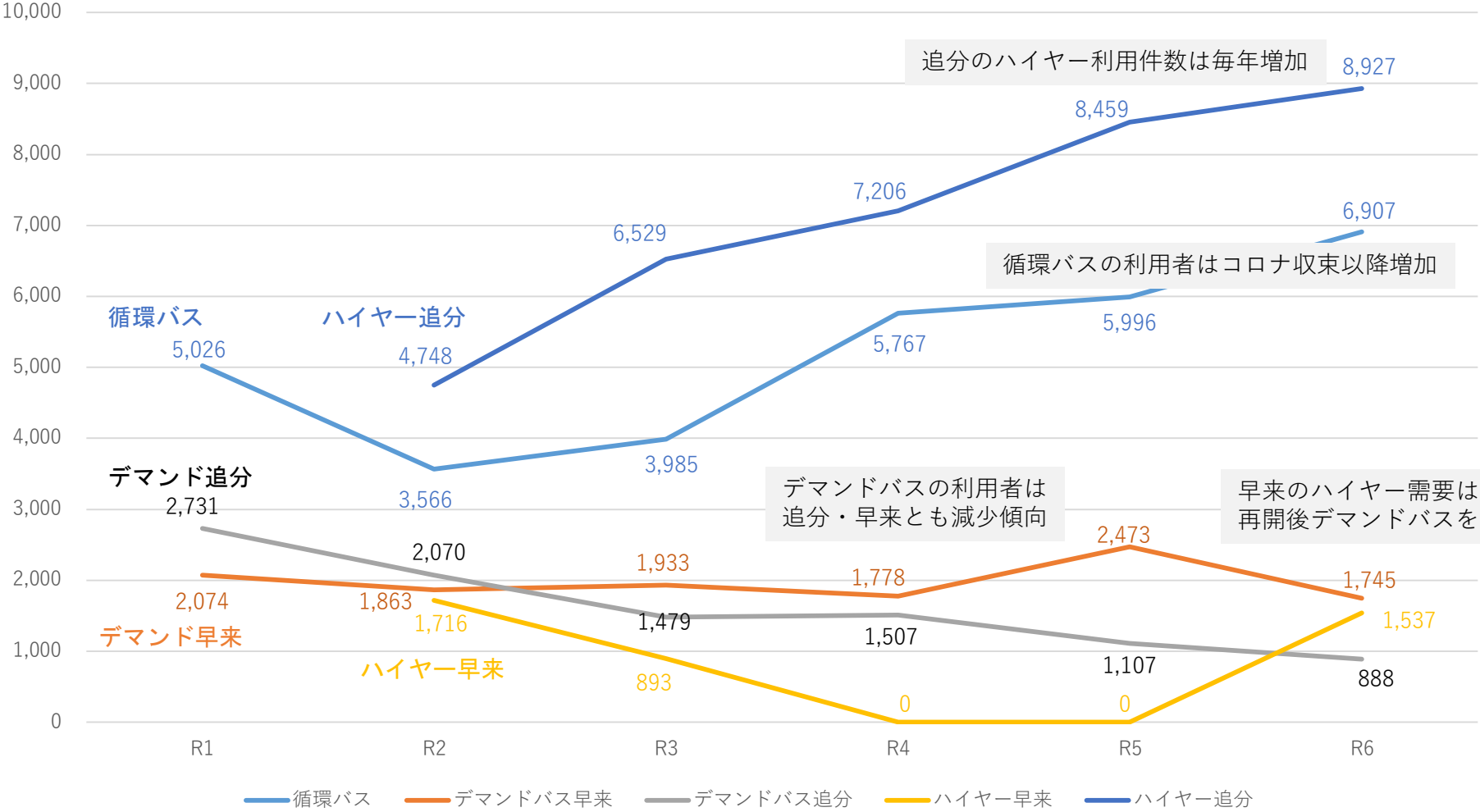
- ・二種免許ドライバーの不足
～ 二種免許ドライバーの高齢化と、若年層の取得者減少
- ・タクシー、ハイヤー供給量の不足
- ・地方、過疎部における交通空白地の存在
～ 利用者減少やドライバー不足等による交通事業者の撤退により、自家用車を活用した運送への期待が高まる

◆分 類

	公共ライドシェア	日本版ライドシェア
運行主体	市町村、NPO法人等 (タクシー事業者との共同経営も可)	法人タクシー・ハイヤー会社
目 的	◇交通事業者が少ない過疎地において、交通空白を埋める手段として公共団体、NPO等が運行することを想定 ◇特に公共交通空白地や高齢化地域での移動手段の確保を目的	◇既存のタクシー・ハイヤー事業者や、ドライバーが不足する場合に、事業者の管理により自家用車の運行を認めるもの
ドライバー	2種免許を持たない一般ドライバー	2種免許を持たない一般ドライバー
車 両	自治体、NPO等の車両	自家用車
運行管理		交通事業者
乗合運送の可否	バスや乗合タクシーの代替としての位置づけをもち、乗合が認められる	乗合は原則認められておらず、1つの予約に1組の旅客を運ぶことが想定
運 賃	一般的に、バスや乗合タクシーと同程度に設定される場合が多く、地域の実情により決定	タクシー・ハイヤー運賃と同じ基準

※参考 『道路運送法(第78条、79条)』 「公共交通トリセツ」HP

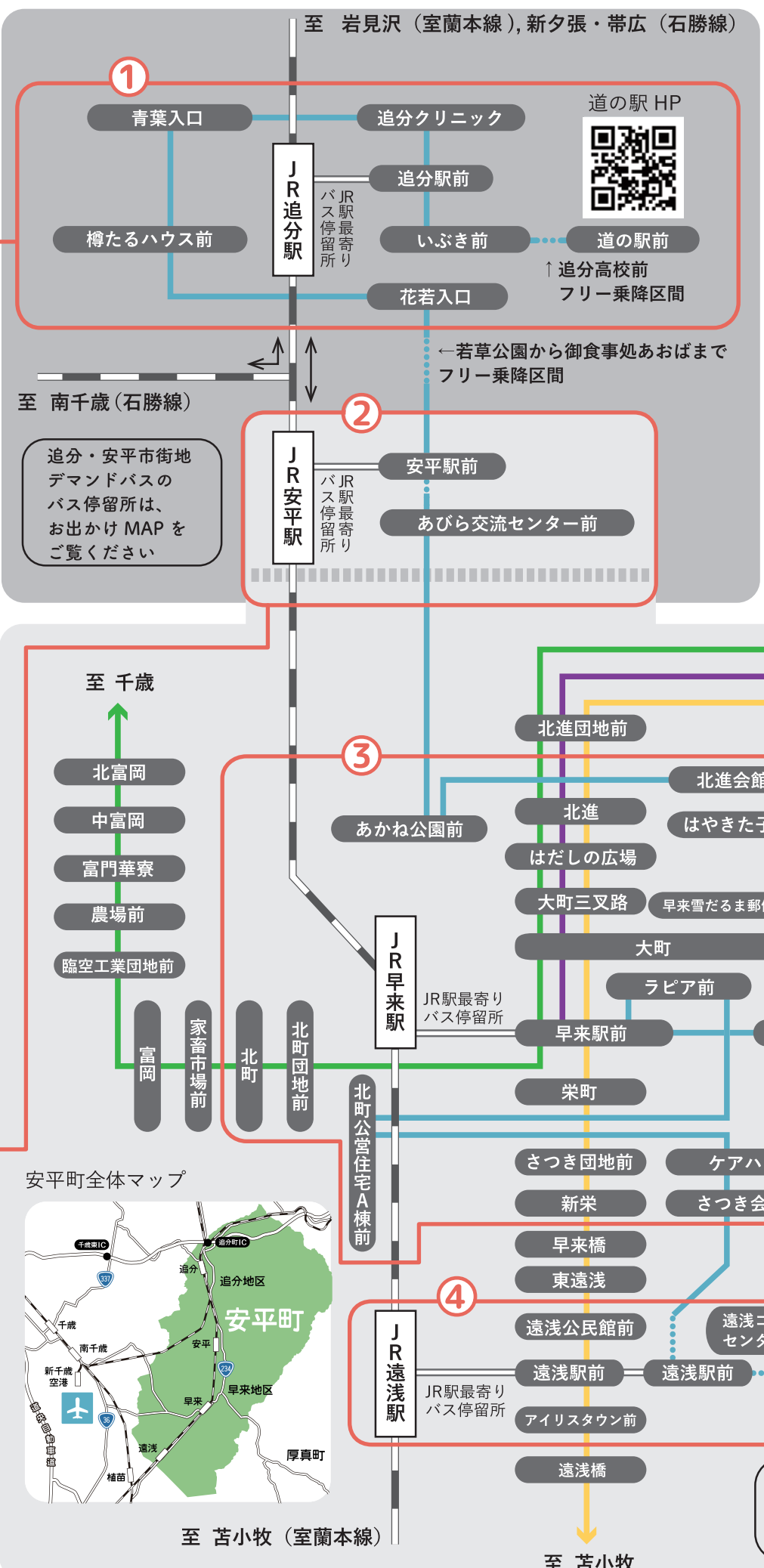
安平町内 循環バス・デマンドバス・ハイヤー 利用者数 (人)



安平町の公共交通

MAP・路線図 2025 年 4 月 1 日現在

- ：食料品店（生鮮品） ①：デマンドバス停留所
：屋食処 ②：コンビニエンスストア
：宿泊



- あつまバス
- あつまバス
- あつまバス



JR 線

(令和 7 年 3 月 15 日現在)

室蘭本線苫小牧方面（上り）

列車名	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】
岩見沢駅	5:57	—	9:03	13:03	15:05	16:35	19:38	21:32
追分駅	6:46	8:23	9:53	14:09	16:06	17:28	20:29	22:30
安平駅	6:53	8:29	10:00	14:16	16:13	17:34	20:35	22:37
早来駅	7:00	8:35	10:06	14:21	16:19	17:40	20:41	22:43
遠浅駅	7:07	8:41	10:12	14:28	16:25	17:47	20:47	22:50
苫小牧駅	7:25	8:57	10:29	14:45	16:41	18:04	21:04	23:07

室蘭本線岩見沢方面（下り）

列車名	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】	【普通】
苫小牧駅	—	6:11	7:31	8:37	13:22	15:58	17:16	19:55
追分駅	—	6:27	7:48	8:54	13:39	16:15	17:33	20:12
早来駅	—	6:33	7:54	9:00	13:45	16:21	17:39	20:18
安平駅	—	6:39	8:01	9:06	13:51	16:27	17:46	20:25
追分駅	6:02	6:50	8:09	9:24	14:05	16:35	18:04	20:34
岩見沢駅	6:50	7:40	—	10:11	14:50	—	18:49	21:19

石勝線南千歳方面（上り）

列車名		普通	普通	おぞら 2号	おぞら 2号	普通	おぞら 4号	おぞら 6号	普通	おぞら 8号	普通	おぞら 8号	普通	おぞら 10号	おぞら 10号
行き先	釧路駅				6:18							13:56		16:12	
	帯広駅			6:45	7:54		8:42	11:12		13:46		15:37		17:51	19:15
	追分駅	6:58	8:15	8:49	9:55	10:04	10:57	13:26	14:04	15:56	16:49	17:29	19:26	19:46	21:18
	南千歳駅	7:13	8:39	9:02	10:08	10:19	11:10	13:38	14:19	16:08	17:04	17:41	19:40	19:58	21:31
	札幌駅			9:34	10:41		11:40	14:10		16:40		18:16		20:29	22:05

石勝線新夕張・新得方面（下り）

列車名	おおぞら 1号	普通	とお 1号	普通	とお 3号	とお 3号	普通	おおぞら 5号	普通	とお 5号	普通	おおぞら 9号	とお 7号	普通	おおぞら 11号	とお 9号
札幌駅	6:48		7:58		8:52	10:45		11:46		15:51		17:26	18:40		19:39	21:09
南千歳駅	7:20	7:50	8:27	9:02	9:26	11:17	11:40	12:17	14:39	16:26	17:42	18:00	19:13	20:03	20:13	21:40
追分駅	7:32	8:04	8:40	9:18	9:38	11:30	12:07	12:29	15:07	16:38	18:01	18:12	19:26	20:18	20:26	21:53
帯広駅	9:19		10:43		11:43	13:27		14:17		18:39		20:07	21:21		22:18	23:46
釧路駅	10:56				13:20			15:50				21:50			23:51	

※列車名は実際と異なる場合があります。

デマンドバス

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

■ 早来・遠浅市街地行き

予約専用電話：0145-22-3637

対象	早来市街地行き	遠浅市街地行き
1 便	8:00 発	8:00 発
2 便	9:00 発	9:00 発
3 便	10:00 発	10:00 発
4 便	11:00 発	11:00 発
5 便	12:00 発	12:00 発
6 便	14:00 発	14:00 発
7 便	15:00 発	15:00 発
8 便	16:00 発	16:00 発
9 便	17:00 発	17:00 発

【早来街中バス停】（ハイヤー空白状態のため、拡充対応中）

- ①はやきた子ども園 ②町民センター ③せいこドーム
④早来雪だるま郵便局 ⑤ニコット ⑥きしだ
⑦サッドラ ⑧渡邊医院 ⑨JR 早来駅 ⑩岸田薬品
⑪前田商店 ⑫まち・あいステーションピア ⑬役場総合庁舎
⑭鶴の湯温泉 ⑮早来学園

【遠浅街中バス停】①JR 遠浅駅 ②遠浅コミュニティセンター前

■ 追分・安平市街地行き

予約専用電話：0145-25-3867

対象	追分地区及び安平・緑丘・瑞穂にお住まいの方
1 便	8:00 発
2 便	9:00 発
3 便	10:00 発
4 便	11:00 発
5 便	12:00 発
6 便	13:00 発
7 便	14:00 発
8 便	15:00 発
9 便	16:00 発
10 便	17:00 発

【追分街中バス停】

- ①追分公民館 ②追分クリニック ③多目的スポーツセンター
④道銀追分支店 ⑤追分郵便局 ⑥ふれあいセンターい・ぶ・き
⑦ぬくもりセンター（JR 追分駅・総合支所）⑧花若会館

【安平街中バス停】

- ①JR 安平駅 ②あびら交流センター ③安平公民館

循環バス

※平日のみ運行 (令和 7 年 4 月 1 日現在)

あつまバス株式会社 電話：0145-27-2311

欄内の！（やじるし）が記入されている停留所には停車しません。

系統番号	11	12	13	14	15
乗車目的の例	通勤・通院 道の駅 （早来駅で苫小牧線に接続）	せいこD 通院	せいこD 通院	せいこD 通院	せいこD 子ども活動
追分駅での接続列車の例	札幌7:32 着	千普 9:18 着	帯急 10:57 着	千普 12:05 着	千普 15:07 着
道の駅前	7:32	9:25	11:20	12:13	15:11
いぶき前	7:35	9:28	11:23	12:16	15:14
追分駅前	7:36	9:29	11:24	12:17	15:15
追分クリニック前	7:39	9:32	11:27	12:20	15:18
青葉入口	7:41	9:34	11:29	12:22	15:20
樽たるハウス前	7:43	9:36	11:31	12:24	15:22
花若入口	7:46	9:39	11:34	12:27	15:25
安平駅前	7:57	9:50	11:45	12:38	15:36
あびら交流センター前	7:59	9:52	11:47	12:40	15:38
あかね公園前	8:07	10:00	11:55	12:48	15:46
北進会館前	8:10	10:03	11:58	12:51	15:49
はやきた子ども園前	8:12	10:05	12:00	12:53	15:51
せいこドーム前	↓	10:07	12:02	12:55	15:53
早来雪だるま郵便局前	8:13	10:08	12:03	12:56	15:54
大町	8:13	10:08	12:03	12:56	15:54
役場総合庁舎前	8:14	10:09	12:04	12:57	15:55
早来駅前	8:15	10:10	12:05	12:58	15:56
ラピア前	8:17	10:12	12:07	13:00	15:58
北町公営住宅 A 棟前	8:20	10:15	12:10	13:03	16:01
ケアハウスサックル前	8:24	10:19	12:14	13:07	16:05
さつき会館前	8:25	10:20	12:15	13:08	16:06
遠浅駅前	8:33	10:28	12:23	13:16	16:14
遠浅コミュニティセンター前	8:36	10:31	12:26	13:19	16:17
早来源武	8:44	10:39	12:34	13:27	16:25
系統番号	21	22	23	24	25
乗車目的の例	道の駅 通院	せいこD 通院	せいこD 通院	せいこD 通院	せいこD 子ども活動
追分駅での接続列車の例	千普 10:04 発	札幌 10:57 発		千普 14:04 発	千普 16:49 発
早来源武	8:47	9:30	11:48	12:40	15:19
遠浅コミュニティセンター前	8:55	9:38	11:56	12:48	15:27
遠浅駅前	8:58	9:41	11:59	12:51	15:30
さつき会館前	9:06	9:49	12:07	12:59	15:38
ケアハウスサックル前	↓	9:50	12:08	13:00	15:39
北町公営住宅 A 棟前	9:10	9:54	12:12	13:04	15:43
早来駅前	9:13	9:57	12:15	13:07	15:46
ラピア前	9:15	9:59	12:17	13:09	15:48
役場総合庁舎前	9:16	10:00	12:18	13:10	15:49
大町	9:17	10:01	12:19	13:11	15:50
せいこドーム前	9:18	10:02	12:20	13:12	15:51
早来雪だるま郵便局前	9:19	10:03	12:21	13:13	15:52
はやきた子ども園前	9:20	10:04	12:22	13:14	15:53
北進会館前	9:22	10:06	12:24	13:16	15:55
あかね公園前	9:25	10:09	12:27	13:19	15:58
あびら交流センター前	9:33	10:17	12:35	13:27	16:06
安平駅前	9:35	10:19	12:37	13:29	16:08
花若入口	9:46	10:30	12:48	13:40	16:19
樽たるハウス前	9:49	10:33	12:51	13:43	16:22
青葉入口	9:51	10:35	12:53	13:45	16:24
追分クリニック前	9:53	10:37	12:55	13:47	16:26
追分駅前	9:56	10:40	12:58	13:50	16:29
いぶき前	9:57	10:41	12:59	13:51	16:30
道の駅前	10:00	10:44	13:02	13:54	16:33

安平町総合時刻表

あつまバス

あつまバス株式会社

(令和 7 年 4 月 1 日)

※運休日あり

拓勇（快速）

沼ノ端線・早来線

經由運休日

土・日・祝

7/25 12/29

8/20 1/5

12/25

1/15

安平町の公共交通「乗り方ガイド」

2025 年 4 月 1 日現在

鉄 道（ＪＲ北海道）

都市間・町内駅間を短時間で移動できます

【乗るときは】

追分駅（有人駅）の場合

①窓口又は自動券売機で目的地までの切符を購入します

- ・駅内には、当駅から行きたい駅までの金額表示がされています。
- ・窓口に駅係員がいないときは、自動券売機で切符を購入します。券売機に必要なお金を入れ、ボタンを押すと切符が発券されます。誤った切符を購入しないよう、券売機の表示をよく確認しましょう。



ワンマン列車の乗降口は、一番前のドアになります。

②行き先の列車が入る「ホームの番号」と「発車時刻」を改札上部の表示板で確認します

- ・「改札中」のランプが点灯していれば改札中の表示ですので、切符を持って改札に向かいます。

③改札口の駅係員に切符を渡し、改札を受けたら、列車が入るホームに向かい乗車します

- ・1 番ホームは手前（改札口を過ぎてすぐ）、2 番ホーム及び3 番ホームは階段を渡った先のホームになりますので、ホームを間違わないよう注意しましょう。



整理券を忘れず取りましょう。

（無人駅又は追分駅の窓口営業時間外の場合）

安平駅・遠浅駅（無人駅）の場合

①列車が来たら列車内の整理券をとって乗車します

- ・無人駅で乗車するときは切符を購入するところがありませんので、列車乗降口の「整理券」を取り忘れないようにだけ注意して、列車が来たらそのまま乗車着席します。
- ・行き先の列車が入るホームを間違わないよう、予め駅内の掲示を確認しておきましょう。

早来駅（無人駅）の場合

- ・早来駅は無人駅ではありますが、安平町物産館が併設されていますので、物産館が営業している時間（8:30～18:00/12 月 31 日～1 月 3 日は休業）には、切符を購入することができます。物産館が営業時間外の場合は、安平駅・遠浅駅と同じ流れで乗車します。

【降りるときは】

有人駅の場合

①切符を自動改札機に入れるか、改札口の駅係員に渡します

- ・無人駅で乗車した場合は、改札口の駅係員に運賃を支払います。



無人駅（又は追分駅の窓口営業時間外）の場合

①運賃又は切符は、整理券と一緒に、一番前のドア付近の運賃箱に入れます

- ・ワンマン車両の場合は、一番前のドアだけが開きますので、注意しましょう。
- ・特急列車から降りたときは、改札口にある切符受箱に切符を入れて駅を出ます。

町民対象のハイヤー運賃半額事業（町内移動・近隣医療機関）実施中！

ハイヤー（追分ハイヤー）

適時性や行き先の自由度に優れた便利な公共交通。
お急ぎの方、ワゴン車両の乗降には不安がある方に最適です。町が発行する「共通回数乗車券」も使用できます。

追分エリア ☎0145-25-2150（日曜休業）
営業時間 月～木曜 7:30～21:00
金・土曜 7:30～23:00

早来エリア ☎0145-29-7045（日曜休業）
営業時間 月～土曜 8:30～18:50

※地域おこし協力隊の着任時期によって変更になる場合があります。

地域間幹線バス（あつまバス）

隣接市との連絡バス。早来駅で鉄道に乗換えも可能

* 苫小牧線・沼ノ端線（厚真～早来駅～沼ノ端駅～苫小牧駅）
* 千歳線（厚真～早来駅～空港～南千歳駅～千歳駅）

あつまバス ☎0145-27-2311

通年/営業時間 6:00～20:30



各線の詳細はあつまバスホームページから

【乗るときは】

①バス停でバスを待ちます。あつまバスのバス停は「赤色」です

- ・バス停の時刻表を確認して、行き先のバスが停まるバス停であることを確認します。
- ・平日ダイヤと土日祝ダイヤがありますので、運休等に注意しましょう。



②バスが来たら、バスの正面と側面に表示されている「行き先」や「経由地」を確認します



- ・あつまバスの車両は、左写真のような大型バスになります。車両の側面中央のドアが乗り口です。
- ・バスが近づいたら、乗り間違いのないように表示を確かめましょう。



③乗り口で「整理券」を取ります

- ・乗り口のステップ付近にある整理券発券機（写真右）から整理券をとります。

【降りるときは】

①次が目的地のバス停になったときは、降車ボタンを押します

- ・次の停留所は、車内前方の運賃表示機又は車内アナウンスで確認します。
- ・降車ボタンは、窓枠などに設置されています。押すとブザーが鳴り、ランプが点灯します。
- ・バスが完全に停止してから、バスの前方に進みます。（ブレーキ時の転倒などに注意）



②運賃を運賃箱に入れて支払い、降車します

- ・運転手横の運賃箱（写真右）に「整理券」と「運賃」を入れます。
- ・運賃の額は、整理券の番号と運賃箱の上部にある運賃表示機の表示とを照合して確認します。
- ・両替が必要なときは、運賃箱の両替機が利用できます。
- ・安平町内を経由するあつまバス路線でも、安平町が発行する「共通回数乗車券」を使用できます。

【千歳線 運賃表（主な停留所のみ）】

1200	950	930	910	900	880	880	840	820	780	750	710	710	660	660	630	230	200	千歳駅
1160	880	850	840	830	800	800	770	750	710	680	640	640	570	570	550	200	南千歳駅	
1110	840	830	820	810	780	780	750	710	680	650	620	620	550	550	530	千歳空港		苫小牧駅
750	470	450	440	430	410	410	370	340	300	250	200	200	140	140	北富岡	沼ノ端駅西	490	
730	440	430	410	400	380	380	340	320	270	220	160	160	140	中富岡	アイリスヶ丘	340	500	
730	440	430	410	400	380	380	340	320	270	220	160	160	富門華	遠浅駅前	140	340	500	
660	370	350	340	330	310	310	260	230	190	140	140	農場前	遠浅公民館	140	140	350	500	
660	370	350	340	330	310	310	260	230	190	140	臨空団地	東遠浅	170	190	190	370	530	
630	330	310	300	290	260	260	220	190	140	富岡	早来橋	140	220	240	240	370	530	
580	280	270	250	240	210	210	150	140	家畜市場	新栄	140	150	250	270	270	370	530	
550	240	220	210	200	170	170	140	北町	さつき団地	140	140	170	260	280	280	370	530	
520	210	190	180	170	140	140	北町団地	栄町	140	140	140	190	270	290	290	370	530	
490	140	140	140	140	140	早来駅前	早来駅前	140	140	140	180	230	320	320	320	400	560	
490	140	140	140	140	大町	大町	140	140	140	140	180	230	320	320	320	400	560	
470	140	140	140	大町三叉路	大町三叉路	140	140	140	180	190	210	260	340	340	340	430	580	
460	140	140	おしのの場	おしのの場	140	140	140	180	190	200	220	270	340	340	340	470	590	
450	140	北進	北進	北進	140	140	140	140	190	200	210	230	290	340	340	550	620	
430	北進団地	北進団地	北進団地	140	140	140	140	140	200	220	230	250	300	380	380	550	630	
厚真	厚真	430	450	460	470	490	490	520	530	540	550	610	680	680	680	920	1100	

* 小児運賃は半額（10 円未満の端数は四捨五入）

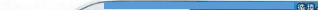
【苫小牧線・沼ノ端線 運賃表（主な停留所のみ）】

追分～遠浅の町内地区間を跨ぐ移動ニーズに応えます

【乗るときは】

- ①バス停でバスを待ちます。循環バスのバス停は「スカイブルー色」です
・バス停の時刻表を確認して、行き先のバスが停まる停留所であることを確認します。

②バスが来たら、側面中央の乗降口から乗車します

- ・循環バスの車両は、マイクロバス1台(定員24名)、ワゴン車2台(定員15名・14名)の3台で運行します。車両の形状等が3台とも異なりますが、循環バスの車両には、デマンドバスとの区別や視認性向上のため、3台共通して、スカイブルー色のデザイン塗装を行っています。
 - ・行き先の方向を間違えないように、乗降口で行き先を確認しましょう。
- 



ワゴン車のイメージ

【降りるときは】

- ①運転手に「次の〇〇で降ります」など、運転手に声をかけます**
・降車ボタンはありませんので、運転手にはっきりと声をかけてください。

- ②バスが停車したら、乗車料金を運転手に渡して降車します**
・料金は運転手にお渡しください。料金は下表のとおり、1人1回乗車あたり定額料金になります。

循環バスの乗車料金区分	乗車料金(定額)	支払い方法
大人(中学生以上)	200 円	降車時に、運転手にお支払いください。 安平町の共通回数乗車券で支払うことも可能です。 車内での両替は原則できません。
小人(小学生)	100 円	
幼児(未就学児・要保護者同伴)	無 料	

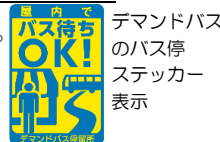
デマンドバス (安平町商工会・追分ハイヤー)

自宅と街中バス停を結ぶ予約制の公共交通。
通院をはじめ小地域内の移動目的に最適です。

【初めての方】

- ①【まずは利用者登録/町民限定バス】 「本人を確認できるもの」を商工会に提出します

- ・健康保険証など「本人を確認できるもの」を提出（郵送等は「写し」を提出）。印鑑不要。
持参提出の場合は登録証を即日発行！いつかの利用のために予めの登録を！
【登録窓口/ 安平町商工会本所(早来)☎22-2789、商工会支所(追分)☎25-2154】



【乗車の際は】

「デマンドバスって何?」など、ご不明な点は予約専用電話までお気軽にお問い合わせください

- ①乗車したい便（時間）の1時間前までに電話又はスマホで予約をします

- ・電話の場合、朝の第1～2便を希望する場合は、前日(前営業日)までに予約する必要があります。
 - ・スマホ予約の場合、休日でも乗車申込が可能です。予約確定は平日の営業時間内となります。
 - ・帰りの時間がわかっているときには、行きの便の予約時に、帰りの便も予約することが可能です。
(一度申し込んだ予約の変更やキャンセルも可能です。電話又はスマホにてご連絡ください。)
- **スマホ予約案内**



スマホ予約案内

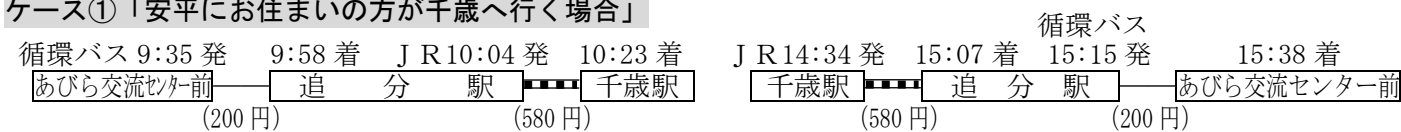
- ②乗車予定時刻に合わせて、自宅又は街中バス停で車を待ちます（使用車両：ワゴン車）

- ・時刻表の発車時刻が最初に乗車する利用者の乗車時間の目安となります。乗合バスのため、予約人数や運行経路により目的地までの所要時間が変わります。運賃は降車時に支払います(共通回数乗車券使用可)

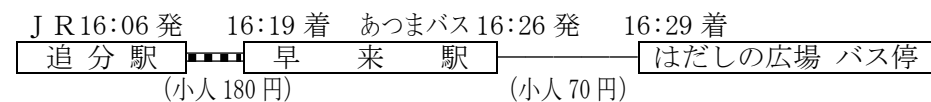
運賃(定額)	大人(中学生以上) 300 円	小人(小学生) 150 円	幼児(未就学児・要保護者同伴) 無料
--------	-----------------	---------------	--------------------

●ご利用のモデルケース紹介 ～乗って活かそう公共交通・賢く上手な公共交通の組合せを～

ケース①「安平にお住まいの方が千歳へ行く場合」



ケース②「追分の子どもが、早来のはだしの広場や早来学園等での活動に参加する場合」



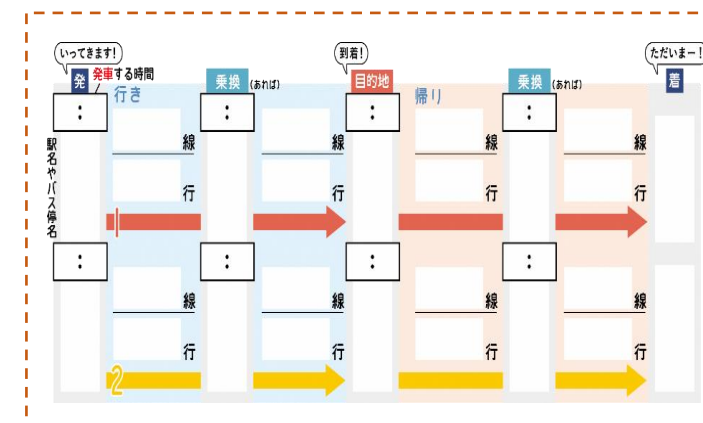
町内全ての公共交通で使用可能な「共通回数乗車券」				券購入額の 10%をポイントあびらに付与！	
共通回数乗車券の内容	販売価格	(券 1 枚あたり)	券の使用可能範囲		
50 円券×11 枚綴り	500 円	(約 45 円)	循環バス、デマンドバス、町内のハイヤー、 追分駅窓口&早来駅併設物産館(きっぷ購入代金)、 あつまバス町内営業路線		
200 円券×11 枚綴り	2,000 円	(約 182 円)			
300 円券×11 枚綴り	3,000 円	(約 273 円)			
【販売場所】 安平町役場総合庁舎（早来）政策推進課政策推進グループ窓口 安平町役場総合支所（追分）窓口 安平町商工会本所（早来）・追分支所、町内ハイヤー会社					
・購入の場合は有効期限なし ・券の払戻（現金化等）不可					

安平町の支援事業紹介（１）運転免許の返納者への支援（運転免許証自主返納者支援事業）

担 当 課	総合庁舎（早来）税務住民課生活環境グループ（☎22-2940） ※総合支所（追分）の窓口でも申請書の受付に限り可能となります。
町民への 支援内容	2019 年 4 月以降に運転免許を自主返納した<u>満 70 歳以上</u>の町民に共通回数乗車券を交付します。 ①満 80 歳に達するまでに免許返納を完了し、かつ役場担当窓口に申請し、交付決定が認められた方 ⇒ 年間 33,000 円分×3 年間（以降 80 歳に達するまでは 16,500 円分）交付します。 ②満 80 歳を過ぎて免許返納を完了し、かつ役場担当窓口に申請し、交付決定が認められた方 ⇒ 年間 33,000 円分×1 年間交付します。 ※①②の申請には、運転履歴証明書等の自主返納を証明する書類が必要です。

安平町の支援事業紹介（２）高齢者やしょうがい者等への支援（福祉交通助成事業）

担 当 課	総合庁舎（早来）健康福祉課福祉グループ（☎29-7071） ※総合支所（追分）の窓口でも申請書の受付に限り可能となります。	福祉交通助成事業で交付する券に限り、1年間の有効期限がありますのでご注意ください
町民への支援内容	以下のいずれかに当てはまる方に共通回数乗車券を年間最大で 16,500 円分（8月から1年分）を交付します。交付を受けるには初回のみ申請が必要です。 ①満 70 歳以上で、介護保険料第 1 ～ 3 段階の方 ②障害者手帳（身体・知的・精神）所持者又は障害年金受給者 ③生活保護世帯 ④介護保険施設等の入所者 ⑤ひとり親世帯 ⑥満 80 歳以上の方	



点線に沿って切ると、名刺サイズの時刻表になります。
拡大コピーして、お好みの大きさにしてもOK！

